

おりづるタワー

2016年に建てられたおりづるタワーは、広島のお洒落な新しい観光名所です。原爆ドームと広島市の素晴らしい景色を一望できるこの建物は、その名の通り折り紙の鶴がテーマになっています。折り鶴は、広島の人々が原爆の犠牲者に祈りを捧げる際のシンボルです。平和な未来を祈る意味もある折り鶴のように、おりづるタワーも未来に向かう広島市の象徴なのです。

らせん状の階段を上ってゆくと、おりづるタワー最上階には美しいデザインの展望デッキ「ひろしまの丘」があります。ひろしまの丘の緩やかに傾斜した広いデッキの床には天然木が使われており、現代的でありながら心休まる空間です。窓ガラスのない設計のため、外からは爽やかな風が吹き込み、眼下に広がる都市と遠くの山々の風景を楽しめます。晴れた日には、22km先の世界遺産、宮島が見えることもあります。

ひろしまの丘の下にある12階のおりづる広場では、様々なデジタルアクティビティの体験ができます。デジタルの折り紙でできた自分自身よりも大きいアバターを作るなどの体験をした後は、自分で折り紙の鶴を折ってみましょう。平和への静かな祈りを込めて折った折り鶴は、「おりづるの壁」の中に投入できます。訪れた人々が透明なこの壁に投入した折り鶴は、地上の高さまで落ちて積み重なっていきます。おりづるタワーの開館から現在までに投入された折り鶴の数は1階に表示されています。1階には他にも、カフェや広島のお土産が買えるショップもあります。